

「科学クラブ」活動報告



科学クラブ顧問
住野 和男

今年の「科学クラブ」は、1年生がいない、さびしいクラブとなりましたが、メカニカル3D・CAD科2年生のメンバー6名は、授業の合間を縫って活動してまいりました。

本年度の主な活動は、「理科教室」への参加、「出張理科教室」への参加、「製図・作品展」への参加、「ロボット競技会」への参加といろいろな行事に参加してきました。

その中でもメインとなる、本年度の「第15回全国専門学校ロボット競技会」の報告をさせていただきます。

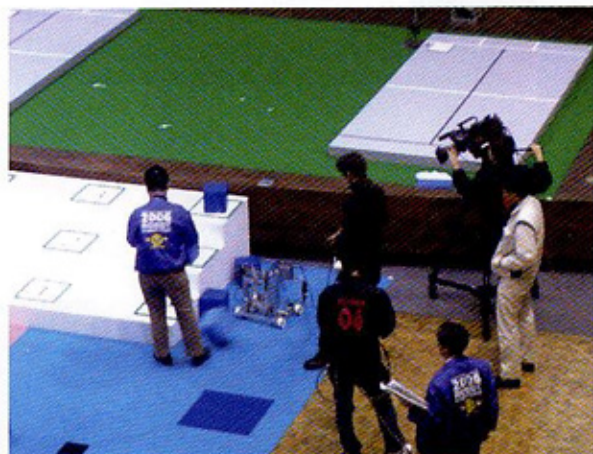
今年で15回を迎える、「全国専門学校ロボット競技会」は例年の通り、本校アトリウムで12月17、18日の2日間、開催されました。今年で最後の出場と

なる記念すべき今大会は、「有線型ロボット競技」に1台のエントリーで望みました。

予選は難なく通過しましたが、さすが決勝トーナメントでは強豪が多く、6位の成績で幕を閉じました。思えば、最高記録が準優勝で、ついに優勝と文部科学大臣賞を取ることができないまま終わってしまいました。

しかし、学生たちはよくやりました、勉強の合間を縫ってのロボット製作、夏休みもなく製作に励んだ日々、思い出せば苦しくも楽しい学生生活を送ったのではないのでしょうか。

この気持を忘れずに、社会に巣立ってもらいたいと思っております。



決勝トーナメント



戦い終わって

この「クラブ」は発足してから早20年、その間クラブ名は変わったものの、一貫して学生の自主活動を主体に、ロボットの製作および競技会への出場、省エネカーの製作および競技会への出場、ソーラーカーの製作および競技会への出場、燃料電池ラジコンカーの製作および競技会への出場、「理科教室」への参加、「製図・作品展」への参加をしてまいりました。

「クラブ」から巣立った学生は150名を超え、今でも連絡を取り合っています。

先輩たちは、会社の重要なポストに就いたり、結婚して子供がいたり、外国に出張していたり、皆それぞれの道を歩んでいます。

この「クラブ」もこれで最後の活動かと思うと寂しくなりますが、卒業生はたくさんいます。年に1回はみんなで集まり、懐かしかった思い出を語り合い、将来の夢を語り合う、そんな「クラブ」を続けて行きたいと考えています。